

海外渡航時に気をつける感染症

感染対策情報 令和8年8月

水・食べ物から（消化器系感染症） 例）A型・E型肝炎、感染性胃腸炎など

【A型肝炎・E型肝炎】

衛生環境が不十分な地域での水や氷、生のカットフルーツの摂取で感染

【コレラ・細菌性赤痢】

発展途上国を中心に流行 下痢や腹痛を引き起こす

予防策 十分加熱された食事を選ぶ、生水・氷・カットフルーツを避ける



画像出典：JANIS イラスト集

蚊・マダニ媒介 例）デング熱、ジカウイルス、マラリア、ダニ媒介脳炎など

【デング熱・ジカウイルス感染症】

熱帯・亜熱帯地域で活発なヤブ蚊に刺されることで感染

【マラリア】

熱帯雨林地域で流行する危険性が高い

予防策 長袖・長ズボンを着用、虫除けスプレーを使用

動物から人へ 例）狂犬病、鳥インフルエンザ、MERS、ハンタウイルスなど

【狂犬病】

世界中の多くの地域に存在 犬だけでなくサルやコウモリなどすべての野生動物にリスク

予防策 犬、サル、コウモリなどの野生動物に近づかない、触らない

人から人へ 例）呼吸器感染症、流行性ウイルス疾患、性感染症など

【麻しん・風しん】

世界各地で流行 感染力が非常に強い

【インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症】

渡航先の人が多く集まる場所や、飛行機内などの密閉空間で感染するリスク

予防策 渡航前にワクチン接種歴を確認・追加接種を検討、人混みを避ける



麻しん（はしか）は世界で流行している感染症です

症状：発熱や咳、眼の充血といった症状が現れ、2～3日発熱が継続した後に、39℃以上の高熱と発疹が出現します

感染経路：空気感染、接触感染

→人から人へ感染し、感染力は非常に強いです

予防と対策：

海外へ行く前に麻しんの予防接種歴を確認

定期接種を受けていない方は接種を検討してください

帰国後の留意点：

帰国後2週間程度は健康状態に注意してください

日本国内で届出された麻しん症例の推定感染地域



2026年第1週～第9週（令和7年12月29日～令和8年3月4日）

出典：厚生労働省HP 啓発ツールより一部編集

渡航前

渡航前の準備と帰国後の対応

帰国後

●群馬県感染症対策連絡協議会ホーム

ページの感染症情報より、厚生労働省検疫所FORTHなどで最新情報を確認

●滞在地域や期間に応じて推奨されるワクチンを接種



- 発熱、下痢、発疹などの症状があれば空港の検疫所で相談
- 医療機関受診時は必ず渡航先や滞在期間等を伝える